

本部広報2017-064

2017年12月22日

年末年始、クルマでのお出かけには万全の準備を！ 事前のチェックでトラブル対策！雪道運転は側溝にもご注意ください。

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 矢代隆義）は、帰省などクルマの使用が増える年末年始、お出かけ前に確認していただきたいポイントをまとめました。また、JAFではこの期間、救援依頼が増加することが予想されるため、体制を強化して対応いたします。

■年末年始の救援出動はおよそ 10.8 秒に 1 件！最も多いのはバッテリー上がり！！

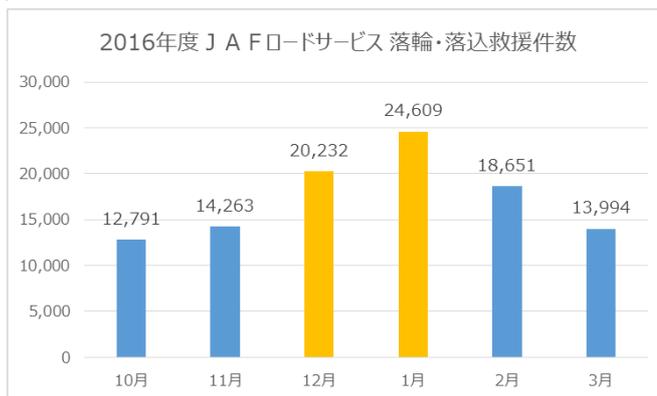
昨年の年末年始期間（2016年12月30日～2017年1月3日）、JAFが出動した件数は4万122件にのぼりました。これは約10.8秒に1件の割合となります（2016年度年間では約13.2秒に1件）。

最も多い依頼は「バッテリー上がり」。気温が低いとバッテリーの能力が低下し、発生しやすくなります。また、バッテリーは、使用環境によって劣化の進み方が大きく変化しますので、カーディーラー、ガソリンスタンド、カーショップなどでのチェックをおすすめします。

【参考】「データで見るロードサービス」：<http://www.jaf.or.jp/rservice/data/index.htm>

■12・1月は落輪・落込が増加傾向！降雪地域ではタイヤチェーンなどの事前準備を

2016年度のロードサービス救援件数（四輪）は、溝などへタイヤが落ちてしまう落輪・落込が12・1月では2万件を超過し、全体の構成比約10%を占めています。前後の11月（14,263件）と2月（18,651件）が2万件を超過していないことから見ても、増加傾向にあるといえます。積雪時は道路の側溝が雪に隠れ、分からなくなっている場合があります。通り慣れた道であっても、充分ご注意のうえ走行してください。



また、お出かけ先で思いがけず積雪や凍結に遭うことも予想されます。JAFの実験ではノーマルタイヤで雪道を走行すると、ブレーキ制動距離がスタッドレスタイヤより1.7倍も長くなりました。降雪が予想される地域へお出かけの際はタイヤチェーンやスタッドレスタイヤのご準備を。

【参考】走れても止まれない、雪道のノーマルタイヤ：<http://movie.jaf.or.jp/details/199.html>

「練習しておきましょう。タイヤチェーンの付け方」：<http://movie.jaf.or.jp/details/112.html>

■「燃料切れ」「燃料凍結」に注意

長距離ドライブの際には、早めの給油をお願いします。高速道路上では、ガソリンスタンドがない区間が長かったり、夜間閉店の場合もありますのでご注意ください。

また、冬は「軽油の凍結」にも注意が必要。比較的温暖な地域で販売されている軽油を入れたクルマが、気温が低いスキー場などに長時間駐車した時などには、軽油（燃料）の流動性が失われ、燃料が噴射できずにエンジンがかからなくなることがあります。軽油の凍結を防ぐには、現地で寒冷地用の軽油を給油しましょう。ガソリンは凍結する心配はありません。

このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912

E-Mail:koho@jaf.or.jp URL: <http://www.jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館